

◇ 教員免許更新講習シラバス(選択領域分)

講座内容についての問い合わせ先…koushin@nara-edu.ac.jp(奈良教育大学)

講習名		主な受講対象者	時間	講習形態
社会科教育(公民分野)		中学校社会・高等学校公民教諭	6H	講義
日程	定員	講師名(所属・職名等)		
平成29年8月24日(木)	30人	内山 知一(奈良教育大学・准教授) 梶尾 悠史(奈良教育大学・特任准教授)		
会場				
奈良教育大学				
<b>【講習の概要】</b>				
本講義では、社会科教育(公民分野)の学びに資するために、以下の2つの視点から、講義を行う。まず、社会科公民分野の授業のあり方について、方法論の視点から、授業方略の具体的検討や関連の研究成果の検討も踏まえて考察する。その上で、内容論の視点から、「知ることと疑うこと」、「生きることと信じること」をテーマに、社会科教育(公民分野)との関連も念頭に置きながら、ソクラテス、デカルト、パスカル等の哲学を手がかりに講義を行う。				
<b>【小テーマ①】 社会科公民分野の授業のあり方を考える</b>			3. 0H	(担当講師: 内山 知一)
講習形態	講義形式			
講習内容	社会科公民分野における授業のあり方を、近年の動向や実践上の課題、授業方略の具体的検討、関連の研究成果・知見の検討などを通して学ぶことで、授業改善に資する。			
到達目標・確認指標	社会科公民分野における授業のあり方を、多角的に考察することができる。			
キーワード	公民教育 授業方略 実践			
<b>【小テーマ②】 知ることと疑うこと</b>			1. 5H	(担当講師: 梶尾 悠史)
講習形態	講義形式			
講習内容	情報社会を生きる個人は、真の知識主体たりうるために、高度な批判的思考力が要求される。それはいかなる意味においてなのか？ 本講義では、知識の探究における批判的・懐疑的精神の意義を、ソクラテスやデカルトの哲学に依拠しながら考察する。			
到達目標・確認指標	知識にとって懐疑が本質的契機であるということの理由を説明できる。			
キーワード	ロゴス、思考、デカルトの方法的懐疑、ソクラテスの反駁的対話			
<b>【小テーマ③】 生きることと信じること</b>			1. 5H	(担当講師: 梶尾 悠史)
講習形態	講義形式			
講習内容	他者への信頼なくして個人はこの社会を生きていくことができない。また信仰は、洋の東西を問わず人類の精神的支柱であり続けてきた。では、人間は信頼と懐疑の狭間でいかに生きるべきか？ パスカルらの哲学を手がかりに、この問題を考える。			
到達目標・確認指標	上記の問題に対して一定の答えを与えることができる。			
キーワード	エピステーメー、ドクサ、パスカルのギャンブル論、ジェームズのプラグマティズム			
試験方法	担当講師それぞれの担当時間の最後に筆記試験(論述式)を行う。			
成績評価の方法・基準等	講義内容を踏まえた上で、解答者自身の考察が十分に加えられていること。小テーマ①(内山担当)50点、小テーマ②③(梶尾担当)50点の100点満点で、60点以上を合格とする。			